

法人名	社会福祉法人 白百合会
施設名	丸山台保育園

発表者名 (職名)	石谷 瑞季 (保育士)	住所	横浜市港南区丸山台3-16-1		
発表者名 (職名)		TEL	045-843-7986	FAX	045-843-7965
発表者名 (職名)		メールアドレス	maruyamadai@ninus.ocn.ne.jp		
		URL	https://shirayuri-maruyamadai.com/about/		
		定員	100名	職員数	46名

発表の概要・内容

丸山台保育園では、野菜の皮むきなど食材に触れる機会をたくさん作り、子どもたちが食材への興味が湧いたり、楽しい食事になるように食育に力を入れています。

日頃行っている食育の活動から繋がった、表現力・想像力がとても豊かな3歳児にじ組の子どもたちのエピソードを発表したいと思います。

～食材に触れてみよう～

1回目のとうもろこしの皮むきでは、葉っぱを一生懸命剥くと奥から黄色いつやつやなとうもろこしが見えてくる嬉しさや楽しさも夢中で皮を剥いていました。皮と一緒に残ったひげを『これなに?』と不思議そうに見ている子どもたち。言葉からイメージがたくさん膨らむ3歳児なので、頭の中で想像しやすいように「これはね、とうもろこしの髪の毛だよ。」と保育者が伝えると、触ったり匂いを嗅いだりして興味津々の様子でした。

前回とうもろこしの髪の毛に触れたり、頭にさせたりして楽しんでいた姿があったので、より食材に興味を持てるように2回目は、「やさいのがっこう とうもろこしちゃん」という絵本を読んでから皮むきをしました。とうもろこしの髪の毛を色々な髪形に結わく場面があり、「かわいい!」と夢中で見ていました。

皮むきが終わった後に、たくさん残った髪の毛をどうするか子どもたちと考えていると、遠足の前に作った大きなてるてる坊主(てるちゃんといこちゃん)を見て、『てるちゃんたちにつけてあげよう!』と子どもたちが声を上げてくれました。活動の前に読んだ絵本を頭の中で想像し、表現をしたその発想がとても面白いと思いました。



～子どもたちの想像力「もしかして!?!」～

髪の毛をつけ完成してから、にじ組のお友達になったてるちゃんとにこちゃん。

ある雨の日に、外を見ながら「雨すごいね。」と子どもたちと話した少し後に、てるてる坊主の向いている方の空が晴れているのが見え、「てるちゃんたちがみてるからだ!ありがとう!」と子どもたちがてるちゃんたちにお話をしていました。てるてる坊主が見てくれているから晴れたというファンタジーの世界が広がる3歳児ならではの姿がありました。

～活動から感じたこと～

とうもろこしの活動を通して保育者が意図していない発展も、子どもたちから発信された面白いイメージがその場だけでなく他の子にも共有され活動が広がりました。保育者の「こうしよう!」だけではなく、子どもたちの考え・やりたいを拾って活動にしていく事で、進んで参加していく場面を間近で見ることができ「主体性」を感じることができました。

日頃の子どもの気持ちを引き出し受け止めてあげることで、一人ひとりが自信を持って生活しイメージ・想像をして「やりたい」が出せる環境を整えてあげることが大切にしていきたいと感じました。

メモ